

「展示資料ウェブ図鑑」を新しく公開しました!

琵琶湖博物館で見ることができる様々な展示物の魅力を発信するため、新たに「展示資料ウェブ図鑑」をホームページ上で公開しました。

文字サイズ: 小 中 大



検索トップ > 資料情報



 拡大



アケボノゾウ

大分類 : 展示資料

中分類 : 交流員おすすめ

展示室 : A展示室

展示ゾーン : 琵琶湖と生き物のものがたり

キャプション情報 : Stegodon auroae, 産出地: 滋賀県犬上郡多賀町四手, 地層: 古琵琶湖層群蒲生層 (約180万年前)

解説 : アケボノゾウは、約120万から約180万年前に日本にいたゾウです。

展示されている全身骨格は、1993年に滋賀県多賀町の工事現場で発見されたものを元に作られています。この多賀標本は体全体の7割が産出しており、1頭分としては最も多く、2022年に国の天然記念物に指定されました。

おすすめポイント : 大陸から来たツダンスキーゾウはとても大きくて、体高(肩までの高さ)が約4mもあります。ミエゾウもほぼ同じか、やや

https://jmapps.ne.jp/biwahaku_h2/



展示資料ウェブ図鑑の第一弾として、博物館の展示交流員によるおすすめ展示紹介を公開します。

今後は、研究者しか知らない様々な情報を通じて興味を深めてもらうことを目指し、学芸員による展示紹介も公開していく予定です。ご期待ください。

<展示資料ウェブ図鑑の目的と今後の予定>

琵琶湖博物館では、「第三次中長期基本計画」の中で「もっと使いやすい博物館」を目指して、多くの展示へのアクセシビリティを確保するための、新たな ICT 技術を用いたガイド手法の導入を事業目標としています。

そのため、展示室にある各種展示物の魅力の多様な発信の一つとして、展示交流員や学芸員によるおすすめ展示のポイントを紹介した「展示資料ウェブ図鑑」の構築を進めています。「展示資料ウェブ図鑑」は、博物館の収蔵資料データベースの公開機能を利用したシステムを使っています。

展示資料のデータベースのコンテンツ作成は、身近な視点から展示を紹介し、展示物や研究成果に広く関心を持ってもらう機会を増やすことを目的としています。そのため、第一弾として、ふだん展示室で来館者と交流する展示交流員によるおすすめ展示紹介を公開しました。

今後は、研究者しか知らない様々な情報を提供し、琵琶湖地域の自然、歴史、暮らしに深い興味を持ってもらうことを目指すため、学芸員による展示紹介についても同様に公開し、データベースに蓄積していく予定です。

文字サイズ：小 大



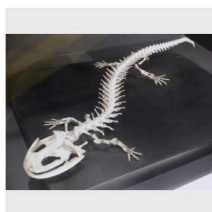
キーワード 全ての語を含む いずれかの語を含む

分類

資料名

画像有のみを表示

PICK UP



オオサンショウウオ骨格標本



粟津湖底遺跡のセタシジミ



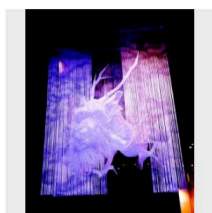
苧 (からむし)



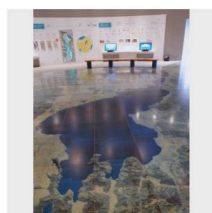
ツダンスキーゾウ



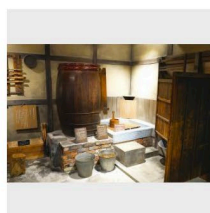
ネジレモ



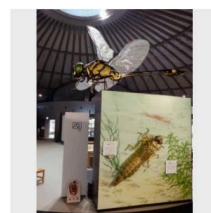
龍のオブジェ



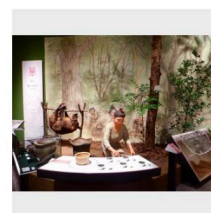
空琵琶



富江家の風呂



ヤゴ



縄文時代の暮らしジオラマ